

所得事例

漁業の所得事例《離島地区》

漁業所得300万円以上

一本釣

経営者の概要 一本釣（専業）を営むA氏（40代）は、妻・子供3人と暮らしています。

経営内容 5トン未満の漁船で親族と2名乗船により操業し、マグロ、タイ類、メダイなどを漁獲しています。

| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| マグロ | | | | | | | | | | | | |
| タイ類 | | | | | | | | | | | | |
| メダイ | | | | | | | | | | | | |

- 経営の工夫
- 省コスト化のために減速航行など省エネ活動
 - 取引単価向上のために高単価が期待される活魚出荷・ネット販売の実施、出荷時期の調整
 - 採集効率を高めるために省力化に繋がる電動リールの導入

| | |
|------|---------|
| 水揚金額 | 1,000万円 |
| 経費 | 640万円 |
| 漁業所得 | 360万円 |

今後の目標

資源の減少（特にマグロ）に備えるため、漁獲対象を他魚種にも広げて、資源状況に左右されない経営を目指します。

※経費／燃料費、販売手数料、消耗資材費、卸代等

イカ釣＋延縄

経営者の概要 イカ釣と延縄を組合せて営むB氏（50代）は、妻・両親・子供1人と暮らしています。

経営内容 5トン超の漁船で1名乗船により操業、イカ類、タイ類、ブリ類などを漁獲しています。

| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| イカ類 | | | | | | | | | | | | |
| タイ類 | | | | | | | | | | | | |
| ブリ類 | | | | | | | | | | | | |

- 経営の工夫
- 省コスト化のために船底清掃など省エネ活動
 - 取引単価向上のために鮮度保持技術の導入
 - 採集効率を高めるために漁具投入をスムーズにするサイドスラストの導入

| | |
|------|---------|
| 水揚金額 | 2,000万円 |
| 経費 | 1,240万円 |
| 漁業所得 | 760万円 |

今後の目標

財務内容を正確に把握し将来に亘って計画的な設備投資を行うため、日々の会計管理を的確に行って、経営効率の向上を目指します。

※経費／燃料費、漁船維持費、漁業資材費、販売手数料、卸代等

一本釣＋曳縄

経営者の概要 一本釣と曳縄を組合せて営むC氏（40代）は、妻・子供2人と暮らしています。

経営内容 5トン未満の漁船で1名乗船により（盛漁期のみアルバイト1名を加え）操業し、チカメキントキなどを漁獲しています。

| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|---------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| チカメキントキ | | | | | | | | | | | | |
| メダイ | | | | | | | | | | | | |
| カツオ類 | | | | | | | | | | | | |

- 経営の工夫
- 省コスト化のために減速航行など省エネ活動
 - 取引単価向上のために高単価が期待される新規市場の開拓を実施
 - 採集効率を高めるために魚群探査時間短縮と採集時間増大を目的とする漁業用ソナーの導入

| | |
|------|---------|
| 水揚金額 | 1,000万円 |
| 経費 | 600万円 |
| 漁業所得 | 400万円 |

今後の目標

これまでの取り組みと併せて、地元（観光業者等）やネットでの販路を開拓し手取り収入の増大を目指します。

※経費／燃料費、販売手数料、人件費等

一本釣＋刺網・延縄・採介藻

経営者の概要 一本釣等の複数種類を組合せて営むD氏（40代）は、妻と暮らしています。

経営内容 5トン未満の漁船で1名乗船により操業し、アジ類、ブリ類、サワラ、サザエなどを漁獲しています。

| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| 一本釣り | | | | | | | | | | | | |
| 刺網 | | | | | | | | | | | | |
| 延縄 | | | | | | | | | | | | |
| 採介藻 | | | | | | | | | | | | |

- 経営の工夫
- 水揚量向上のために漁況に応じて機種応変に操業漁業種類を切り替え
 - 取引単価向上のために鮮度保持技術の導入
 - 採集効率を高めるために魚群探査時間短縮と採集時間増大を目的とする漁業用ソナーの導入

| | |
|------|---------|
| 水揚金額 | 1,400万円 |
| 経費 | 850万円 |
| 漁業所得 | 550万円 |

今後の目標

複数年に亘って計画的に設備投資を行い、操業の効率化による水揚量の増大を目指します。

※経費／燃料費、漁船維持費、漁業資材費、卸代等

漁業の所得事例《本土地区》

漁業所得300万円以上

刺網

経営者の概要 刺網(専業)を営むE氏(40代)は、妻・子供3人と暮らしています。

経営内容 5トン超の漁船で親族と2名乗船により操業し、タイ類、イサキ、ヒラメ、カマスなどを漁獲しています。

| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| タイ類 | | | | | | | | | | | | |
| イサキ | | | | | | | | | | | | |
| ヒラメ | | | | | | | | | | | | |
| カマス | | | | | | | | | | | | |

経営の工夫

- 省コスト化のために船底清掃など省エネ活動
- 取引単価向上のために高単価が期待される活魚出荷量の増大
- 採業効率を高めるために積極的な漁場探索を目的とするエンジン(馬力アップ)の導入

| | |
|------|---------|
| 水揚金額 | 1,000万円 |
| 経費 | 580万円 |
| 漁業所得 | 420万円 |

今後の目標

漁業者の減少に伴って生じた未利用漁場の活用などにより、水揚量の増大を目指します。

※経費/燃料費、販売手数料、人件費等

たこつぼ+曳縄・刺網・延縄

経営者の概要 たこつぼ漁業等の複数種類を組合せて営むF氏(50代)は、妻と暮らしています。

経営内容 5トン超の漁船で1名乗船により(盛漁期のみアルバイト4名を加え)操業し、タコ類、タチウオ、イカ類、クエ類などを漁獲しています。

| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| タコ類 | | | | | | | | | | | | |
| タチウオ | | | | | | | | | | | | |
| イカ類 | | | | | | | | | | | | |
| クエ類 | | | | | | | | | | | | |

経営の工夫

- 省コスト化のために船底清掃など省エネ活動
- 水揚量向上のために経費負担の少ない新規漁業種類の導入
- 採業効率を高めるために漁具投入作業を省力化する潮流計の導入 ※潮流計 潮流の方向、強弱の可視化が可能となる。

| | |
|------|-------|
| 水揚金額 | 830万円 |
| 経費 | 530万円 |
| 漁業所得 | 300万円 |

今後の目標

漁獲魚の取扱技術を上させ、活魚出荷などを増やし取引単価アップを目指します。

※経費/燃料費、販売手数料、漁船維持費、漁業資材費等

新規就業者の所得事例

就業10年以内

一本釣+曳縄

経営者の概要 一本釣と曳縄を組合せて営むG氏(20代、就業6年目)は、妻・子供2人と暮らしています。

経営内容 5トン超の漁船で1名乗船により操業し、タイ類、マグロ類などを漁獲しています。

| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| タイ類 | | | | | | | | | | | | |
| マグロ類 | | | | | | | | | | | | |

経営の工夫

- 省コスト化のために減速航行など省エネ活動
- コスト低減のために輸送コストが低い地元の観光業者向けの販売量の増大
- 採業効率を高めるために魚群探索時間短縮と採業時間増大を目的とする漁業用ソナーの導入

| | |
|------|-------|
| 水揚金額 | 890万円 |
| 経費 | 590万円 |
| 漁業所得 | 300万円 |

今後の目標

漁獲から出荷までの長時間を要するため、鮮度保持技術を習得・実践しより高価での取引を目指します。

※経費/燃料費、販売手数料、漁船維持費、漁業資材費等

定置網(雇用型)

従事者の概要

定置漁業のH経営体に雇われて漁ろう作業に従事
I氏(20代・就業3年目)は向坂
J氏(30代・就業9年目)は妻・子供3人と暮らしています。

就労内容

時期で変動有り、概ね6:00~夕方(実働8~9時間)、休日は交代制で週1日

| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| タイ類 | | | | | | | | | | | | |
| トビウオ | | | | | | | | | | | | |
| シイラ | | | | | | | | | | | | |
| サンマ | | | | | | | | | | | | |

| | |
|-----------|-------|
| I氏(20代)年収 | 330万円 |
| J氏(30代)年収 | 450万円 |

今後の目標

定置漁業の操業では、網の手繰り寄せ、漁獲物の取り上げ、サイズ・魚種別の選別、帰港後の箱立て、網の修繕など多岐にわたる作業を効率的にしなければなりません。全ての作業を完全にマスターして作業のスピードと精度を高めるとともに、将来的には作業船の操縦も任せられるようにしたいです。

漁業の経営事例

漁業所得500万円以上

タコつぼ(+曳縄)

経営者の概要 タコつぼと曳縄を組合せて営むA氏(40代)は、妻・子供1人と暮らしています。

経営内容 5トン超の漁船で1名乗船により操業、マダコ、マグロ、タチウオ、サワラなどを漁獲しています。

| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| マダコ | | | | | | | | | | | | |
| マグロ | | | | | | | | | | | | |
| タチウオ | | | | | | | | | | | | |
| サワラ | | | | | | | | | | | | |

経営の工夫

- 省コスト化のための減速航行等省エネ活動を実施
- 取引単価向上のために高単価が期待される活魚出荷の導入
- 漁閑期に新たな漁法(かご漁業)を導入し周年採集体制の確立

| | |
|------|---------|
| 水揚金額 | 1,830万円 |
| 経費 | 1,150万円 |
| 漁業所得 | 680万円 |

今後の目標

天然資源で漁獲量の変動が大きいため、近隣同業者と共同した出荷方法の検討やタコ産卵壺設置等による資源管理取組を推進するなど外部環境の悪影響を緩和する経営を目指します。

※経費/燃料費、販出手数料、人件費等

延縄(+一本釣)

経営者の概要 一本釣と延縄を組合せて営むC氏(50代)は、妻と暮らしています。

経営内容 5トン未満の漁船で1名乗船により、アカムツ、アマダイ、サバなどを漁獲しています。

| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| アカムツ | | | | | | | | | | | | |
| アマダイ | | | | | | | | | | | | |
| サバ | | | | | | | | | | | | |

経営の工夫

- 省コスト化のためのこまめな船底清掃等省エネ活動を実施
- これまで規格がそろわず出荷できなかった漁獲物を地元で販売
- 採集効率を高めるために好漁場へ正確な延縄の投人が可能となる潮流計の導入

今後の目標

自身の漁家経営を引き継ぐ漁業後継者を確保・育成し、地域を支える漁業の存続を目指します。

※経費/燃料費、販出手数料、漁船維持費、漁業買付費等

市町新規就業担当部署・連絡先

| 長崎県各市町 | 担当課 | 連絡先 |
|---------|--------------|--------------|
| 長崎市役所 | 水産農林部水産振興課 | 095-820-6563 |
| 佐世保市役所 | 農林水産部水産課 | 0956-24-1111 |
| 島原市役所 | 産業部農林水産課 | 0957-68-1111 |
| 諫早市役所 | 農林水産部林務水産課 | 0957-22-1500 |
| 大村市役所 | 産業振興部農林水産振興課 | 0957-53-4111 |
| 平戸市役所 | 農林水産部水産課 | 0950-22-4111 |
| 松浦市役所 | 水産課 | 0956-72-1111 |
| 対馬市役所 | 農林水産部水産課 | 0920-53-6111 |
| 壱岐市役所 | 農林水産部水産課 | 0920-44-6111 |
| 五島市役所 | 農林水産部水産課 | 0959-72-7869 |
| 西海市役所 | 西海ブランド振興部水産課 | 0959-37-0066 |
| 雲仙市役所 | 産業部農林水産課 | 0957-38-3111 |
| 南島原市役所 | 農林水産部水産課 | 0957-73-6662 |
| 長与町役場 | 建設産業部産業振興課 | 095-883-1111 |
| 時津町役場 | 建設部産業振興課 | 095-882-3801 |
| 東彼杵町役場 | 農林水産課 | 0957-46-1111 |
| 川棚町役場 | 産業振興課 | 0956-82-5414 |
| 小値賀町役場 | 産業振興課 | 0959-56-3111 |
| 新上五島町役場 | 水産課 | 0959-53-1111 |